

レブンアツモリソウプロット調査要領

1 調査項目

各プロット毎に、レブンアツモリソウ個体調査（以下「個体調査」とプロット植生調査（以下「植生調査」）の2種類の調査を行い、それぞれの調査野帳に記入

(1) 「個体調査」の調査項目

- ・過去に調査しナンバー表示をした個体の開花、非開花等の状況
- ・新たな個体の確認と開花、非開花等の状況

※状況調査のみで計測はしない

(2) 「植生調査」の調査項目

- ・植生高（プロット内の平均的な植生の高さ）
- ・被度、群度（植生全体、レブンアツモリソウ、ススキ、ササは必須）

2 調査プロット



1 m × 1 m 方形プロット（25箇所）

四つ角にピンク色のテープで表示されている



プロット番号が付されている

※ 各プロット毎にプロット全体の状況が分かるように写真を撮影

3 調査にあたっての注意事項

レブンアツモリソウが少ない箇所を歩行することとし、踏みつけには細心の注意を払いながら歩行し、プロット付近は多くの個体があるため特に踏みつけに注意する。

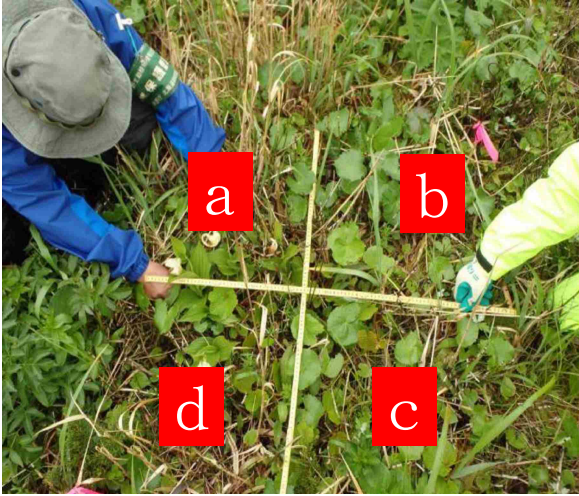
なお、踏圧を軽減するため調査者は3名以下とし、プロットの位置に関しては発注後に示すこととする。

4 調査に必要な道具

- 1) レブンアツモリソウ個体調査野帳、植生調査野帳
- 2) バインダー、筆記用具
- 3) メジャー（1m程度）×2本（折りたたみ式が便利）
- 4) ピンクテープ
- 5) 新規個体表示用のナンバーテープ
- 6) ナンバー表示用の杭（ステンレス又はプラスチック製 長さ20cm程度）
- 7) デジタルカメラ
- 8) マジック
- 9) GPS

※プロット調査は1日程度で完了できる

5 個体調査の方法

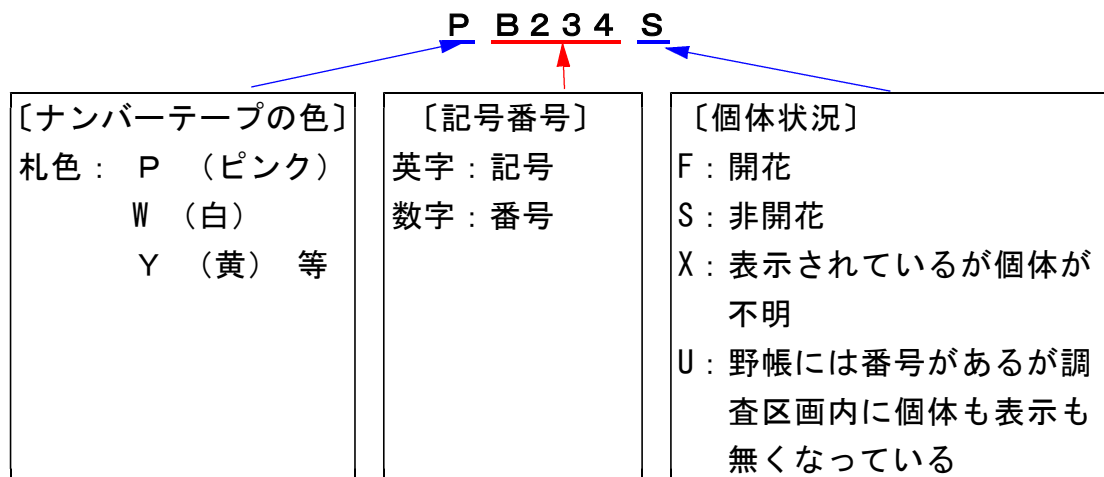


a b c dの4区画毎に調査
(過去に調査したN o表示により区画を確認)



過去に調査したナンバーテープが付いているレブンアツモリソウの個体状況について記載例のとおり個体調査野帳へ記入

6 個体調査野帳の記載例



個体調査野帳

個体状況を記載

新たな個体を記載

Plot	SubP	ID	14stat	15stat	X	Y	ref
23	b	PE430	S	S			
23	b	PE431	F	F			
23	b	PE432	S	F			
23	b	PE433	F	F			
23	b	PE434	F	F			
23	b	PE435	S	F			
23	b	PE436	F	S F			
23	b	PE437	F	F			
23	b	PE438	S	F			
23	b	PE439	S	F F			
23	b	PE440	S	F			
23	b	PE441	S	X			PB 248 S
23	b	PE442	S	S			
23	b	PE443	S	S			
23	b	PE444	S	S			
23	b	PE445	S	S			
23	c	PE446	S	S			
23	c	PE447	S	S			
23	c	PE448	S	S			
23	c	PE449	F	F			
23	d	PE450	F	F			
23	d	PE451	F	F			
23	d	PE452	S	S			
23	d	PE453	S	S			
23	d	PE454	S	S			
24	a	PE455	F	S			
24	a	PE456	F	F			PB 242 S
24	a	PE457	S	S			
24	a	PE458	S	X			
24	b	PE459	F	S			PB 243 S

7 新たな個体を表示する

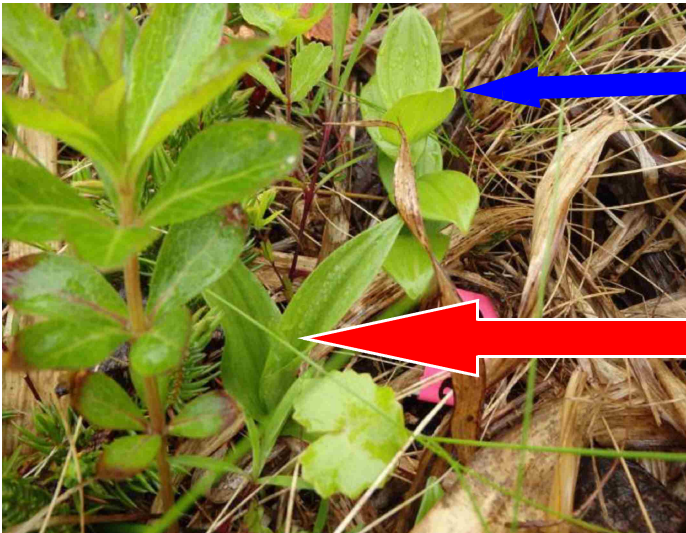


「杭」は全長20cm、錆びにくいステンレスかプラスチック製がよい、ナンバーテープを留める際、ホチキスの針もステンレス製がよい



ピンク色の表示が新たに見つかった個体

8 「レブンアツモリソウ」と間違えやすい「ヒメイズイ」との違い



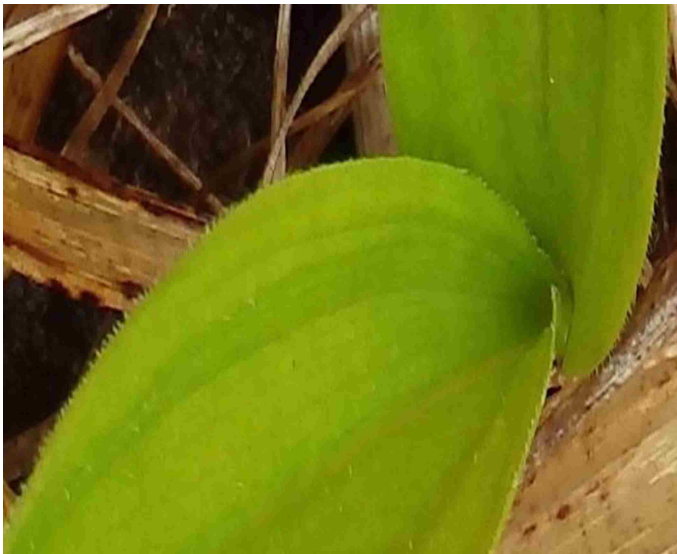
ヒメイズイ

レブンアツモリソウ



ヒメイズイ

レブンアツモリソウ



レブンアツモリソウの葉は、
全体的に毛に覆われているの
が特徴である。

9 植生調査の方法



下記①～③を植生調査野帳に記入

①プロット内の植生全体を見て平均的と思われる「植生の高さ」を計測

②植生全体、レブンアツモリソウ、ススキ、ササの「被度」と「群度」を5段階で評価



③「コケ」の有・無

※ 枯れている植生（特に立ち枯れしたススキ等）は調査対象外。

ススキやササの進入により、レブンアツモリソウが衰退している現状があるので、特にススキとササの進入に留意しながら全体の植生を調査する。

10 被度・群度について

(1) 【被度（ひど）】

種別の植被率を階級で示したもの。コドラート内において、その植物がその層でどれだけの面積を占めているかを示す。

5 : 75-100%

4 : 50-75%

3 : 25-50%

2 : 10-25%

1 : 1-10%

+ : 1%未満

(2) 【群度（ぐんど）】

どのような状態で群落をつくっているか、あるいは単独で存在するかな

どを示す。

- 5: 大きなマット状で全域を覆う
- 4: パッチ状または切れ切れのマット状
- 3: 大きな群を作る
- 2: 小さな群を作る
- 1: 単独で生える

1.1 被度・群度について(目安)

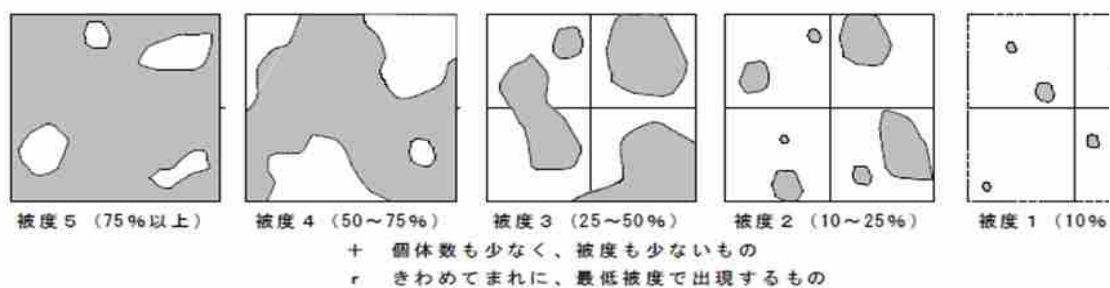


図 3.1.5 被度の模式

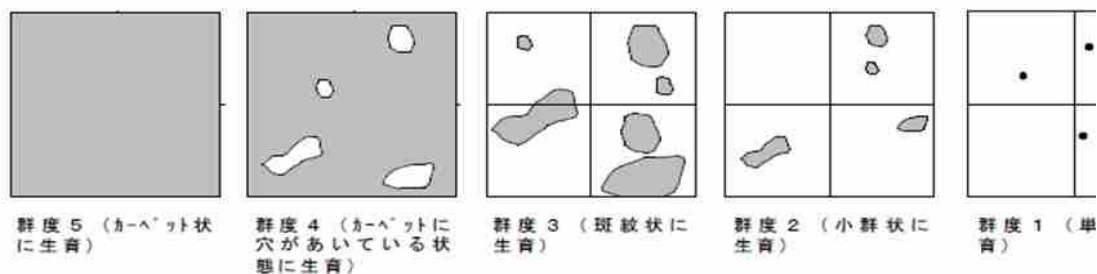


図 3.1.6 群度の模式

※ 割合が1%未満のものは「+」表記する

1 2 植生調査野帳の記載例

	C:被度 G:群度	plot																					
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22
被度		90	70	90	90	90	90	80	80	80	90	70	80	70	90	80	90	80	90	80	90	90	90
植生高		30	25	20	15	20	20	40	30	35	30	30	35	20	22	20	20	20	25	24	5	27	25
コケ		有	有	無	有	有	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	無	有	無	有	無
レブンアツモリソウ	C	1	1	1	2	1	1	1	2	1	2	1	1	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1
レブンアツモリソウ	G	2	1	2	2	1	1	2	1	2	1	2	2	2	2	1	2	1	2	1	1	1	1
ススキ	C	3	+	1	1	2	+	2	1	4	+	2	3	3	2	1	4	2	4	+	+	+	+
ススキ	G	3	+	1	1	3	+	2	2	4	+	3	3	2	2	2	4	3	+	+	+	+	+
細スゲ	C																						
細スゲ	G																						
アキノノゲシ	C																						
イヌトクガワザサ	C																						

調査対象種：コケ、レブンアツモリソウ、ススキ、ササ（イヌトクガワザサ）